

## 安倍総理にアジア文化交流政策「文化のWA」の 継続・発展を要望する提言書が提出されました

本日、2019年10月31日（木）午前、国際交流基金アジアセンター事業諮問委員会座長の山内昌之（やまうち まさゆき）氏（東京大学名誉教授）と、国際交流基金の運営に関する諮問委員会座長の五百旗頭真（いおきべ まこと）氏（兵庫県立大学理事長）が、安倍晋三内閣総理大臣を表敬し、それぞれ、「『文化のWAプロジェクト』（日本とアジアの文化交流）継続への提言」、「『文化のWAプロジェクト』発展に向けた提言」を手交し、活動の継続・発展を要望しました。

安倍総理からは、山内・五百旗頭両座長のこれまでの尽力に敬意を表したい旨、また、『文化のWAプロジェクト』をはじめとする日本の文化外交に対して各国から評価が得られている旨、発言がありました。

また、安倍総理から、各国における日本語及び日本文化への関心の高さについて言及しつつ、日本の文化的な魅力を維持することを含め、こうした取組を継続することが重要である旨、あわせて発言がありました。

両委員会のメンバー及び提言書の全文については、別添をご参照ください。



写真左：山内昌之氏



写真右：五百旗頭真氏

### ● 文化のWA（和・環・輪）プロジェクト～知り合うアジア～

2013年12月の日・ASEAN特別首脳会議で日本政府が発表した新しいアジア文化交流政策。2014年4月に国際交流基金内に設置されたアジアセンターが実施を担っている。

同プロジェクトは、ASEAN10か国を中心に、これまでの5年間で、約2,000人の日本語学習支援者を派遣するとともに、約2,000件の文化交流事業を実施することで、約600万人の交流を創造してきた。

2020年までの時限措置となっているが、ASEAN各国首脳等からは、これまでの活動への高い評価と継続への期待が表明されている。

### この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 コミュニケーションセンター（広報担当：熊倉、原田）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: [press@jpf.go.jp](mailto:press@jpf.go.jp)